

ウイルかわら版 will

平成二一年
十月
号

第三号

編集 吉澤 隆
協力 内田和也
(株吉澤企画)

くさて、第三号となりましたウイルかわら版ですが、三日坊主、三度目の正直等など、三に絡む数字は一つのハードルになるのでは？と恐れていたのですが、紹介するお友達にも恵まれ、快調に前倒しで？発行します！

『葬祭ディレクター』って

ご存知ですか？

そうなんです、私たちの働いている葬儀業界でも、厚生労働省の認定資格があるんですよ。良い葬儀社ばかりじゃないと言われてしまふ業界ですので、葬儀の担当者の質を底上げしようと考えた業界組合の方々が、毎年一回、9月に葬儀に携わるスタッフの技能審査試験をやっているのです。

葬儀や相続、感染症などの知識や、司会・接遇、

式場装飾の技能の試験をして、合格者には一級、二級のディレクターとしてライセンスが

与えられます。案外知られてませんよね？



こんなやつです↑

でも、そんなスタッフたちが、試験の申し込みをしてから、6・7・8月の間、毎週一回集まって実技の特訓をします。通勤途中に電車の中で本を読んだり、単語帳で記憶をしたり、それはもう涙ぐましいですよ。故郷のご両親に見せてあげたくありません。

試験が終わって緊張が解け、笑顔の皆さん↓



◇ ◇ ◇ ◇
私たちウイルの母体である(株)吉澤企画では、毎年5人位ずつのベテランスタッフが、このディレクター試験に挑戦します。
これが(私たちににとっては)結構難しいんですよ。
自慢じゃないですが、うちの若いスタッフたちは皆イイ奴なんですけど、試験勉強なんて運転免許の時くらいしかしたことのない人が結構いるんです。

日本中で受験をする数千人のなかには、優秀で経験も豊富で、大した苦勞もせずに合格してしまう人だっていると思います。それに、試験に受かったからといって、その人の人柄が証明されるような試験内容ではありません。
でも、若くて未熟なスタッフたちが、時々悩んだり立ち止まったりしながらも、コツコツとトレーニングをして、その結果手に入れる葬祭ディレクターライセンスには、技能の認定を受ける以上の価値があるのだと思っています。
今まで何をやっても3日坊主だったり、積み重ねて何かを身に付けるような経験をしたことがなかったひとが、3か月もの間我慢して、積み上げて、何かを手に入れる。その体験こそが財産だと思いませんか？

ウイルさいたま 0120-797-739

『そんな彼らに活躍する場を提供したい！』そんな思いから始めたウイルさいたまです。まだ未熟な会社ですが、ぜひ長い目でお付き合いください。



9月24日と10月22日(木)は、大宮駅西口駅前早朝掃除です。朝6時からですが、結構間に合うものですよ！途中からでも歓迎です。7時までですから、終わってから会社に間に合いますし、大宮駅西口を出ると、すぐのところですので、場所もすぐわかります！

～ウイル・10月の行事予定～

- 10/1 19:00～さいたま建設的な生き方を学ぶ会 (大宮、ウイル)
- 10/7 10:00～東京建設的な生き方を学ぶ会 (大森、東西(株))
- 10/17 15:00～大宮アルティージャ応援！ vs川崎フロンターレ(埼玉スタジアム2002)
- 10/22 6:00～大宮駅西口駅前街頭清掃

お気軽にお問い合わせください！



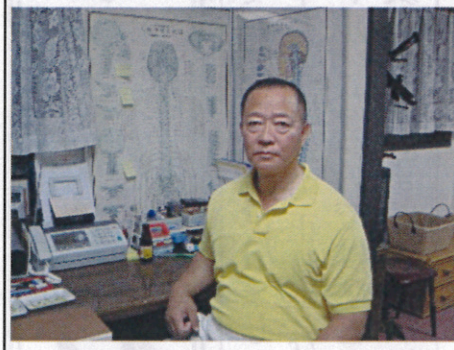
★ホームページOPENしました★ <http://www.will-saitama.jp>

「今月は二〇〇八年の八月にご縁の出来ました、小西健(たけし)さんをご紹介します。いただきます。」

「お客様二人目は、「大宮カイロプラクティック院」の小西健さん。ご縁が出来たのはやはり葬儀なのですが、カトリック北浦和教会で行われた葬儀ミサでは、小西さんのご長男ご長女の二人が演奏するパイプオルガンが、聖堂全体を包み込むような音色を奏でていたのが思い出されます。」

「しかし、その繊細なお子様たちとは裏腹に(ごめんなさい!)マツチヨなダンディ。そんなイメージの小西さんです。」

「～大宮カイロプラクティック院にて～突然お願いしたのに、笑顔で?取材に応じてくださいました♪ ↓」



「どう見ても体育会系の小西さんですが、生まれは横浜、後に引越されて杉並の自衛隊官舎でそだちます。小学六年の時に小平霊園の近くに引越されたのですが、その頃から小平霊園の周り一周四キロを走っていたとのこと。サラッとと言われるのですがそんなトレーニング好きの子供なんて珍しいですよ!？」



押し入れに、20kg×2のバーベルを発見!!

「二〇歳くらいからは更にエスカレートして、空手と合気道の道場をハシゴしてトレーニングしたり、朝六時半から道場に行ったりと、三二歳で結婚して引越するまでは、一週間に八日(分?)はトレーニングをしてくかなく、と笑顔で回想する小西さん、凄いです。」

「さいたままでの結婚生活で道場から離れてしまった代わりに、そこからはボディビルばりのマッスルトレーニングを初めて、いまだに続けているのだそう。そのストイックさには脱帽です。」

「何でそこまで?と思いますよね?それに対して小西さんはこんな風に言っていました。」

「カイロに来る人は、どこか調子悪くて来るんだけど、気力も体力も、その人に吸い取られるというか、消耗するんです。でもまたリセットして次のお客様に接するには、やはり基礎体力が重要。」

「好景気のころは何人も人が続けてやってきて、家に帰ると疲れて箸も持てないことがあった。」

「人様の健康を気遣う仕事をするからには、自分がまず健康でないといけない。で、そのためにトレーニングをするのが続くようになる。辛いトレーニングをやり抜くと、自信と気力が付く。のだそう。」

「取材に行ったつもりが、『だからお前もがんばれ!』と激励された気分です。お葬式やカウンセリングをする者として、見習いたいと思います。(でも20kgのバーベルは無理です!...)」

「家族葬ホールが出来たので、見ていただくたくてウズウズしています!御用のある方、無い方。内覧会と称して、お食事会でもしませんか!？」

「小西さんのところへのお問い合わせの際は、「ウィルかわら版」を見た!と書いていただけると、. . . きっと小西さんの嬉しい笑顔が付いてきます♪」



048-647-8970
大宮東口徒歩4分
さいたま市大宮区大門
3-191今井ビル五階

※近隣に類似店が多数ありますので、店名をよくご確認ください。

「私もレーサー時代の古傷が痛むことがあるのですが、今度は改めて施術してもらうためにやってきます。と、約束をしてインタビューを終了しました。」

「老若男女問わず、身体のことや困っている人は、試しに小西さんに相談してみたいかがですか? きっと自分の家族のことのように真剣に答えてくれることと思います。」